



第5期横浜市教育振興基本計画

校長 朝川 健太郎

新学期が始まって1か月が過ぎ、子どもたちも新しい学年での学校生活に慣れてきたようです。4月15日(水)には1年生を迎える会が実施され、今年度初めて全校児童が校庭に集まりました。4・5年生が企画したゲームやクイズに楽しそうに参加している姿や6年生からメダルのプレゼントを受け取って嬉しそうにしている姿を見て、安心して小学校生活が送れていることを実感しました。2年生から6年生までの児童も、徐々に新しいクラスや新しい担任の先生にも慣れ、落ち着いて今年度の学習をスタートさせています。4月27日(月)には、今年度最初の避難訓練が行われました。1年生もヘルメットをかぶり、真剣な様子で体育館に避難しました。また一つ新たな経験を積み重ね、成長したことと思います。



学校探検をする1年生

さて、令和8年4月に「第5期横浜市教育振興基本計画」が策定されました。これは、2030年頃の社会を見据えて、横浜の教育が目指すべき姿を描いた「横浜教育ビジョン2030」のアクションプランで、令和8年(2026年)から令和11年(2029年)までに行う施策や取組について示されています。本計画では、子どもたちを取り巻く「今」と子どもたちが羽ばたく「未来」を見据え、子ども一人ひとりが「未来」を創るために必要なこととして、

- 自らの人生を舵取りするたくましさ
- 世界の人たちと出会って、ともに新しい価値を創り出そうとする力
- 多様性や変化を受け止め、可能性を最大限に広げるしなやかさ

の3つの力を掲げ、それらの力を身につけるため7つの柱・18の施策で構成されています。

本校でも、それらの施策に基づき、

- ・ 一人1台端末を活用した子ども主体の学びの実現
- ・ チーム担任制を含めたカリキュラム・マネジメントの研究
- ・ 「誰もが」「安心して」「豊かに」生活できる学校を目指した人権教育の推進
- ・ 多様な教育的ニーズに応えるためのスマイルルームの活用
- ・ 子どものSOSを早期に察知するためのデジタル技術の活用やいじめアンケートの実施
- ・ 学校協働運営協議会を中心とした、地域・家庭・学校が連携した教育活動

など、様々な取組を行っていきます。詳しくは、5月23日(土)の学校説明会でお知らせします。学校公開と合わせて、多くの皆様のご来校をお待ちしています。